

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和6年5月

（1）与論町において3戸が家族経営協定調印

5月23日、与論町役場で町、農業普及課が立ち会い、畜産農家3戸の家族経営協定調印式を開催しました。目標、経営方針、役割分担、収益分配及び労働時間などを家族で話し合い、協定内容を取り決めました。「『報・連・相』で、目標を達成したい」、「何でも話し合い、儲かる農業を目指す」、「地域の方の経営も参考に、家族で力を合わせて経営に取り組みたい」との農家の抱負に、農業委員会会長から「我が家の経営発展と併せて与論町の畜産農家の所得向上にも貢献してほしい」と励ましの言葉がありました。



（2）「よろん和牛女子」令和6年度活動がスタート

5月23日、与論町役場で「よろん和牛女子」の総会が会員9人出席のもと開催されました。当組織は、農業普及課が働きかけ、畜産に携わる若手女性12人で令和4年度に設立されました。総会では、森園みゆき会長が「各種研修会や相互の牛舎視察、セリ市でのPR活動など活動を行いながら親睦を深め、自らの経営や与論町の畜産を活性化していきたい」と抱負を語りました。総会終了後、家畜保健衛生所と農業普及課が畜舎の衛生管理について研修を行い、技術研鑽を図りました。



（3）「咲八姫」の出荷本数倍増

沖永良部島で7人が栽培している「咲八姫」の、今期出荷が終了しました。出荷は、3月3日から5月3日までの2か月間行われ、暖冬の影響で開始が10～14日程度前倒しとなりました。出荷実績は、昨年の上回る約24,000本が生産され、関東、関西を中心に販売されました。出荷率は、4月の長雨による病害等の影響も見られ、目標の80%には届かず、来期への課題となりました。来期は、今期の反省を生かし、出荷率向上を目指して生産者・関係機関が協力して安定生産に取り組んでいきます。

(4) 「母の日イベント」大盛況

母の日前日の5月11日、沖永良部花き専門農協で、和泊町女性農業者組織「スマイル&フレッシュ」が、フラワーアレンジとブーケづくり体験会を開催しました。親子、夫婦、家族連れなど60組の参加者は、会員が生産したスプレーギクやトルコキキョウ、ユリ、ソリダゴなどを思い思いに組み合わせ、オリジナルのアレンジを300円の手料費で楽しみました。「八重のトルコキキョウがきれい」、「たくさんの色にびっくり」等の感想があり、花のPRもでき、会員は来年も開催したいと意欲を新たにしました。

(5) 「サトウキビ黒穂病」対策本部で蔓延防止へ動く

5月12日、知名町でサトウキビ黒穂病が今期初めて確認され、その後和泊町でも確認されました。サトウキビ黒穂病は、茎の梢頭部から黒い鞭状物が抽出し、糖度減少や減収の要因となります。また、病原菌が風や雨水で分散し、地上芽や地下芽に感染し、株出回数が多くなるほど、感染リスクは高まります。防除策としては、罹病した株は、黒い鞭状物に袋を被せて株ごと抜き取り、焼却処分します。さらに、抵抗性品種を植え付け、植付け時に苗消毒を行います。農業普及課は関係機関と連携し、被害軽減を支援します。

(6) サシバエによる牛のストレスを減らそう

5月8日、沖永良部家畜市場で沖永良部子牛セリ市前に、サシバエ対策研修会を実施し、肉用牛農家20人が出席しました。サシバエは、吸血による強い痛みのストレスを牛に与えます。研修では、幼虫対策として丁寧な除糞と適切な堆肥化、成虫対策としてハッカ油を吹き付ける牛体保護が有効であることを学びました。また、ハッカ油をサラダ油で50倍に薄めてスプレーで吹き付ける実演に、参加農家は関心を示し、「早速自分で実践するぞ」との意見も聞かれました。